

活動名：第20回NACカップU10・U12

日程：令和4年7月3日（日）

会場：小野町営グラウンド

参加：U10 E4 U12 T6・L100 21名

帯同：U10：E4 設楽コーチ

U12：T6・L100 熊坂コーチ

サポート：貝和コーチ

結果：U10：E4 3勝1分け/5チーム

U12：T6・L100チーム

VS 富田 0：0 PK 負け

VS 行健 0：0 PK 負け

VS 常葉 勝ち 7位/8チーム

### 全般報告（設楽）

この大会は20回目を迎え、小野町に本社を構える(株)NACさんに協賛していただき2日間の大会で、地元の小野FCさんが大会運営されてきました。コロナ禍で昨年までの2年間の中止をしてきましたが、今年は1日大会でU12がトーナメント（15分前後半）、U10がフレンドリーマッチ（15分、相手チームと人数を調整して試合）で行われました。

以下、各チームの報告です

### T6・L100 報告（熊坂）

#### テーマ

1対1の攻守において全力で戦うこと。

シュートレンジを身につけるために積極的にゴールを狙うこと。

運動量で負けないように走り切ること。

L100、T6クラス関係なく一つのチームとして仲間を大切に、同じ目標に向かって一致団結して最後までやりきること。

#### 良かったところ

危ない場面もありましたが3試合全てで失点しなかったことは素晴らしかったと思います。切替が早かったこと、1対1で粘り強く対応してくれました。又、空港杯では出来ていなかったカバーリングを考えたポジショニングも取れていて成長を感じる事が出来ました。

試合前のミーティングで伝えた攻撃の形を試合の中で何度か作り出すことが出来ていました。しっかりと話を聞き、理解し、実践できる技術もあり良かったです。

ピッチ内の選手だけではなくベンチにいる選手も声を出し、チームが一つになって戦うことが出来ました。

初戦、2試合目とPKでの敗戦となりましたが気持ちを切らさずに3試合をやりきってくれました。選手たちの成長の為には無駄な試合などありませんので1試合、1試合を大切にしてくれて良かったです。

#### 課題

攻撃の形を作り何度もチャンスがありましたが初戦、2試合目とも無得点で終わっ

てしまいました。ゴール前での冷静さ、狙ったところへ正確に蹴るといったところが大きな課題だと思いました。

この大会を通してまだまだ自分のシュートレンジを理解することが出来ませんでした。私が考えている選手達のシュートレンジで打てていませんでした。遠いところから打ってしまったり、打てる場面なのにドリブルをしまいボールを奪われるといった場面が見受けられました。

浮球の処理もまだまだ出来ていませんでした。ボールを怖がりバウンドさせてしまったり、ボールに対して体を横に向けてしまっていました。フリーな状況であればトラップでしっかり収めること、相手がいる場合にはダイレクトで跳ね返せるようにして欲しい。又、セットプレーにおいて素晴らしいボールがきても避けてしまう場面もありました。ゴール前では体の何処に当ててもゴールを決めるといった強い気持ちのこもったプレーをして欲しいとも思いました。

#### 出来事

昼食の時間に選手達だけでミーティングをしてもらいました。

6年生が主体となりみんな真剣に話し合ってくれている姿を見ることが出来ました。しっかりと大会に向き合ってくれていて嬉しく感じました。

T6の選手達に閉会式後に感想を聞きました。みんな走らされてきつかったようですが、真剣勝負でやりがいがあり楽しかったとも答えてくれました。

今後も6年生には真剣勝負を通して大切な仲間と素晴らしい思い出を作ってくれたら嬉しく思います。

## E4 報告（設楽）

### 試合内容

#### テーマ

できないことを要求はしないから、今自分ができる技術を出し切ること。

サッカーのルールを覚えること。

暑い日であったため、体調が悪くなったら無理せずに早くコーチへ伝えること。

#### 良かったところ

スローインやキーパーのルールなど伝えたところ、熱心に聞いていました。

3人の選手が自らキーパーをやりたいと言ってくれたので、試合後との選出が円滑にいききました。（通常はキーパー役をコーチがお願いしたり、じゃんけんで決めたりしています笑）

相手のボールを怖がらずに奪いに行くことができ、ドリブルで攻め込むこともできました。

熱中症で倒れる選手もいなく、最後まで元気に4試合をすべて負ける事無く戦えたこと。

#### 課題

しっかりとシュートやパスができない。（思ったところに蹴れない）

浮いたボールを怖がって頭やカラダで処理（止める）することができない。

## 出来事

一試合をはさんだ連続の試合スケジュールで、昼食をしっかりと食べる時間も無かったため、試合の合間に食べる量をコントロールするように伝えましたが、午後の試合もおなかいっぱいで走れない選手が居なかったのも自分で調整してくれたことに高学年になったと感じました。

最後に、小野FCさん、(株)NACさん、この度はご招待いただき、ありがとうございました。来年もまたアーレをお誘いいただけると幸いです。この大会が来年も開催されることを祈念します。

保護者の方々には、朝早くからお子様の送迎と暑い中の応援をありがとう ございました。







